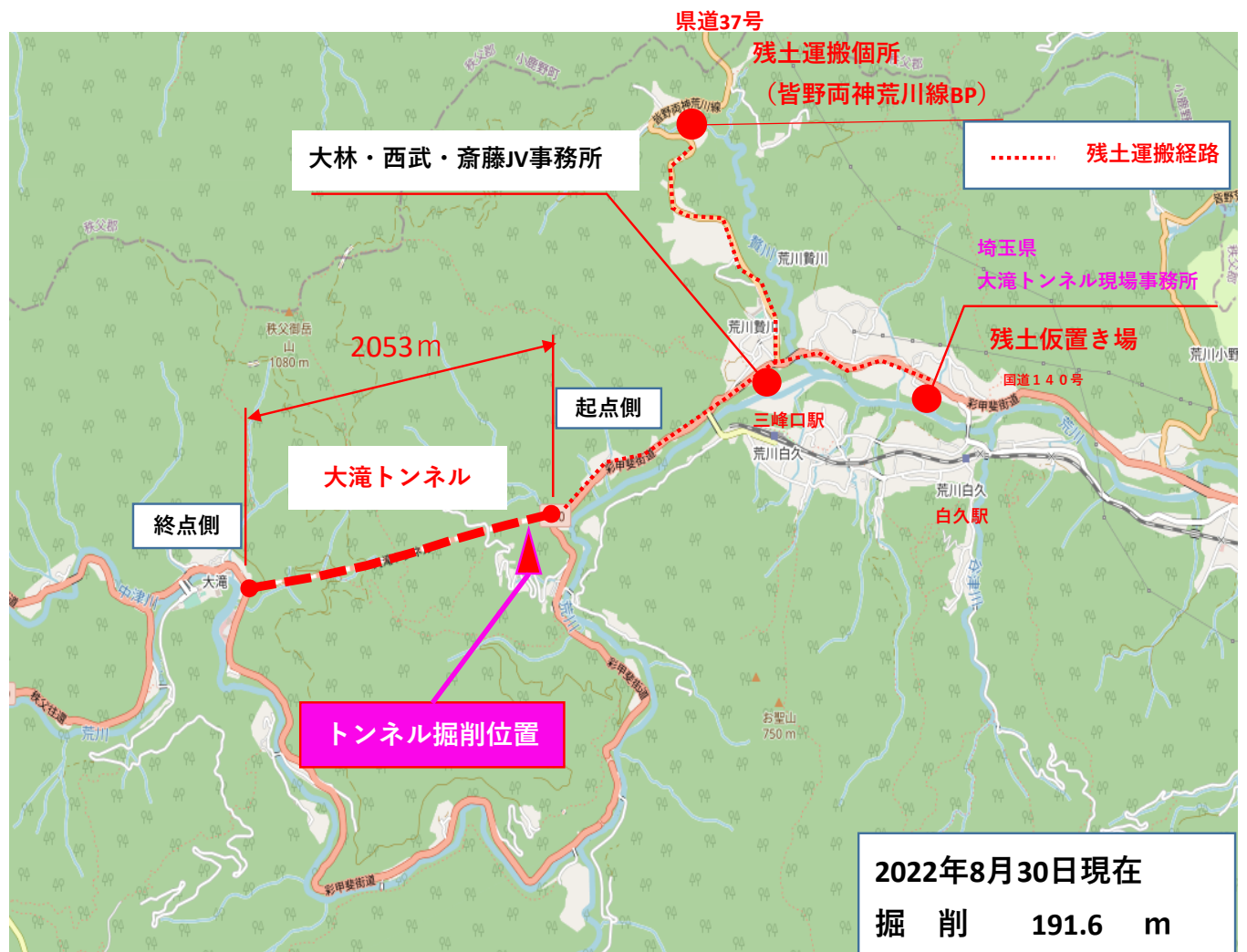


大滝トンネル 工事情報通信

朝夕は大分過ごしやすくなりましたが、日中はまだまだ残暑の厳しい日が続いています。皆さんはお変わりございませんか。トンネル工事も起点側拡幅区間の掘削、インバートも完了し、現在は標準2車線断面の掘削に入りました。1日当たり6サイクル(1m×6回=6.0m)くらいで進めています。



トンネル坑内全景
トンネルを掘るための機械を坑内へ置くことができました。



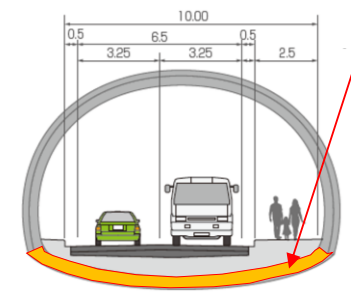
装薬状況
岩盤に穴をあけて、火薬を入れて発破の準備をしているところです。



トンネルより秩父市内側で仮橋橋工事を進めています。

工事の進捗状況及び、今後の予定

トンネル掘削は、2週間に1回程度前方の地山を探索ボーリングしながら進めています。9月初旬及び下旬にインバートコンクリートを行う予定です。地山もまだそこまでは固くないのでインバートをを行いながらになりますが、9月に入るともう少し地山が固くなり、インバートの無い掘削区間になる予定です。トンネル掘削機械のほとんどを坑内に停められるようになりました。掘削で発生した残土は皆野両神荒川線BPへ運搬しています。



※大滝トンネルは2053mの内、587m部分をインバートコンクリート打設予定です。

トンネルのあれこれ

トンネル工事で疑問に感じていると考えられることについて説明したいと思います。今回は、トンネルの入口にある木の飾りについてです。正式には『化粧木(けしょうぎ)』と呼んでいます。



昔から日本の山には神様(女神)が住んでいると言われてきました。この考えは全世界同様の考えで、海外から入ってきた信仰とも言われています。そのため、トンネル内に女性が入ると神様が嫉妬して山を揺らし崩れるとか、大声や犬の鳴き声でびっくりし山を揺らすなど言われており、トンネル内では大声や犬を入れないようにしています。神社でも『犬を入れないでください』の札を目にすることがあると思います。



左の写真を見てトンネルの入口と神社の鳥居はどこか似てませんか。神社の鳥居は神様の領域を示しているといわれ、それより境内側は神様の宿る領域になります。トンネル入口にある化粧木も神社の鳥居と同じで中に入ると神の領域となります。(化粧木は伊勢神宮本殿の屋根の飾り木が元となっており、国内ほとんどの新設トンネルで設置しています。)

トンネル工事で、今も昔も一番怖いのが落盤や突発的な湧水です。掘削開始前化粧木を上げ神様を迎え入れ、地山が崩れないように祈りを込めて安全を祈願しています。因みにトンネル先端で掘っている箇所(切羽)を『鏡』と呼んでいます。

8月29日 小雨の中、荒川猪鼻地区の現場見学会を行いました。



問合せ先

大滝トンネル事業全体
に関するお問い合わせはこちら

埼玉県西関東連絡道路建設事務所
住所：秩父郡皆野町皆野2511-1
TEL：0494-62-5811
担当：菅沼、宮城、小池



大滝トンネル本体工事
に関するお問い合わせはこちら

大林・西武・斎藤JV工事事務所
住所：秩父市荒川荒川 703-1
TEL：0494-26-6371
担当：古家、小野寺、寺園